

1 事業概要

- (1)日時 令和7年5月8日(木)午前9時から11時30分まで
- (2)場所 玄蕃山(「玄蕃山」は普段の散歩コースで、馴染みのある場所)
- (3)参加人数 園児:5歳児23名、引率:(主任及び保育士)3名
- (4)講師 ひるま植生 Salon 学芸員 蛭間啓氏(農学博士)
- (5)ねらい 友達と一緒に玄蕃山を散策し、自然物の名称を知ったり遊び方を知ったりして親しみを持つ。
- (6)日程 9:00全体会⇒9:10園出発⇒9:20森の道を散策⇒11:30 園着

2 実施内容:【神科第一保育園(信州型自然認定)での自然保育(野外散策)】

9:00 園庭にて挨拶、説明(注意事項など)、蛭間さんを紹介

9:10~11:30・園から「玄蕃山」を歩いて往復

途中、蛭間先生から植物の名称や遊び方などの話を聞く。

- ① 【タンポポ】:セイヨウタンポとニホンタンポポの違いを実物を見せながら教えてくださった。ガクの反り返りの違いに興味津々で見ている。子ども同士でクイズにしていた。
- ② 【笹】:蛭間先生がアメの作り方を保育士や子どもたちに教えてくれた。自分で作ってみようとする子もいた。
- ③ 【ヤエムグラ】【アカネグサ】:服にくっつく草であることを教えてもらい、友だちや保育士にくっつけ楽しんだ。
- ④ 【ノビル】:「食べられるんだよ」と教わり、みんな夢中になって探す。「葉の部分を切ってみるとネギみたいなにおいがするよ」と、他の草との見分け方を教わってから、「これは違う」などと自分たちで探した。
- ⑤ 【ヒビタキ】:きれいな鳴声の鳥の名前を教えていただき、みんなで耳を澄ませてる。画像を見せてもらい「いた!」と鳥の姿を見つけ見入っていた。
- ⑥ 【イタドリ】【スイバ】【カタバミ】:「食べるとすっぱいんだよ」と教わる、夢中になって探す。
- ⑦ 【ノジヤ】:園への帰り道、端に生えているを発見



3 総括(全体のまとめ)

- ・普段散歩で通っている場所であったが、いつもは“頂上の見晴らし台に行くための道”としての認識だった。今回、蛭間先生に教えていただきながら歩くことによって、通り過ぎていた場所に足を止めて、植物一つ一つに注目したり、新しい遊び方知ったりし、新たな発見がいくつもあり、子どもたちも目を輝かせて散策していた。
- ・蛭間先生から教えていただきことをタイムリー保護者にも「おたより」で伝えたことで、家庭でも話題にさせていただき、子どもたちの体験を家庭とも共有することができた。
- ・身近にある自然への知識を深めることは、子どもたちの興味や遊びの充実につながることを改めて感じ、保育士も学び深める必要性を感じた。